施策番号	0205		
施策名	**女性に対するあらゆる暴力の根絶**		
概要	社会問題化している配偶者等からの暴力（ＤＶ）の根絶に向けた啓発や自立支援とともに，女性に対する性的いやがらせなど，あらゆる暴力の根絶に向けた広報・啓発を強化する。		
担当局･部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局･部室	
上位政策	2　人権・男女共同参画		
施策に関係する主な分野別計画等	第４次京都市男女共同参画計画，きょうと男女共同参画推進プラン		

施策の評価

１　客観指標評価

	指標名	24年度	25年度	26年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	配偶者暴力相談支援センターにおけるDVに関する対応件数(京都府)(件)	a	a	4,369	5,298	2,760	192.0%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

２　市民生活実感評価

＊この評価は，毎年５月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

	設問	26年度回答						
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1	女性に対する暴力や性的いやがらせが根絶された社会になってきている。	22	121	201	106	73	523	c
		4.2%	23.1%	38.4%	20.3%	14.0%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c

３ 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価）

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☑ 客観指標	a	□ 市民の実感	c		
（重み付けの理由） 対象が配偶者等からの暴力を受けた者という限定的な施策であり，市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため，客観指標総合評価を重視する。						25年度	B
（原因分析） 【客観指標】平性23年10月の京都市DV相談支援センターの開所や，継続した子育て世代への広報啓発等の効果があいまって，相談件数が増加傾向にあり，3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】市民の生活実態に施策の効果が直接反映されにくい性質であるため，市民生活実感調査ではどちらとも言えないとの回答が多く，昨年度に引き続きc評価となったと考えられる。						24年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況（千円）		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	ＤＶ対策事業	73,135	77,293	かなり良い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

●平成２３年度から実施している「第4次京都市男女共同参画計画　きょうと男女共同参画推進プラン」の中に，重点分野の一つとしてＤＶ対策の強化を掲げ，「京都市ＤＶ対策基本計画」を策定し，取組を推進している。
●平成２７年度の「きょうと男女共同参画推進プラン（第４次京都市男女共同参画計画）」の中間見直しに向け，男女共同参画に関する市民の意識や日常生活の状況等を把握し，今後の施策を検討する基礎資料とするためアンケート調査を実施している。
●今後も本計画に基づき，配偶者等からの暴力の根絶に向けた取組を総合的かつ計画的に推進し，被害者に対して継続的な自立支援に重点を置いた取組を行うとともに，京都市域のＤＶ相談専門機関一覧のリーフレット等の配架場所の拡大や地下鉄車内広告等，日常生活で目に触れる機会を増やし，ＤＶの基礎知識や支援を必要としている被害者に対し，引き続き周知を図っていく。

施策名	0205	女性に対するあらゆる暴力の根絶

指標名	配偶者暴力相談支援センターにおけるＤＶに関する対応件数（京都府）（件）

担当課	男女共同参画推進課	連絡先	２２２－３０９１

１　指標の説明

京都市ＤＶ相談支援センター及び京都府家庭支援総合センターにおける京都市域のＤＶ（配偶者・交際相手等からの暴力）に関する関係機関との調整件数を含む対応件数

２　指標の意味

重大な人権侵害であるＤＶの救済に向けた貢献度を示す指標

３　算出方法・出典等

出典：事業担当課及び京都府家庭支援総合センター調査

４　数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	4,369	5,298	929件増	2,760	32年度の目標値達成のため，当該年度達成すべき数値（＊前年度数値比73件増）	192.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		3,264件	32年度	162.3%	平成21年度実績(2,468件)を基準に，5年毎に15%増の目標値を設定。

備考	＊{目標年次件数(3,264件)－H21年度実績(2,468件)}÷11年(H22～32年度)

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
ａ：100%以上
ｂ：70%以上100%未満
ｃ：30%以上70%未満
ｄ：10%以上30%未満
ｅ：10%未満

６　基準説明

・目標値を達成すればａ評価
・以下20～40%刻みでｂ～ｅ評価

７　評価結果

24	25	26
a	a	a